

C・トラップの施工及び取り扱い上のご注意

～本取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご使用下さい。

●取扱上の注意

① 保管・取り扱いに関する注意事項

- ・強い衝撃を与えると破損する恐れがありますので、丁寧に取り扱いして下さい。
- ・火の近くなどの特に高温になる場所で保管・使用しないで下さい。

② 取り付けに関する注意事項

- ・流入・流出の向きに注意して水平に取り付けて下さい。
- ・塩ビ配管を接続する場合は、配管材料メーカーの注意事項を守って下さい。
- ・接着剤は、塗り忘れしたり、必要以上に多量に塗ったり、接着面以外への付着がないように十分注意して下さい。
- ・本体付近で吊り(配管の支持)を取って下さい。
- ・C・トラップの二次側配管にはトラップを設けしないで下さい。
- ・排水立て管には伸頂通気を設けて下さい。
- ・ドレンパン排出レベルとC・トラップ流入レベルのレベル差はドレン排出口にかかる静圧以上として下さい。

(ドレンアップポンプ付きの場合は裏面「★ドレンアップメカへの接続について」参照)

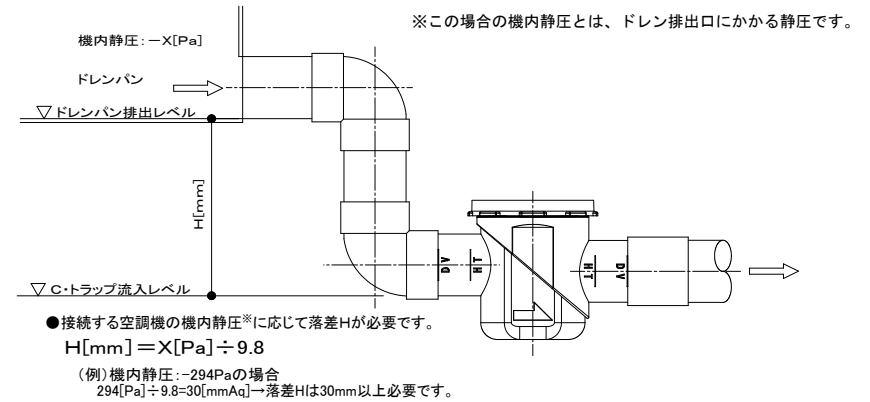
- ・配管終了後、保温施工前に通水(満水)テストを行い水漏れが無い事を確認して下さい。
- ・必要に応じて結露防止対策を施して下さい。
- ・保守・点検・清掃作業が行える様にC・トラップ付近に点検口を取り付けて下さい。

③ 使用に関する注意事項

- ・通常使用時はフタをしっかりと閉めておいて下さい。また、フタの開閉時は本体を支えて、配管に力がかからない様に注意して下さい。
- ・フタの開閉時には、フタの内側の止水用パッキンに傷や異常が無いか点検して下さい。異常が認められた場合はパッキンを新しい物と交換して下さい。
- ・汚れの程度により定期的に点検口フタを開け内部部品を取り出して、特殊フロートボールとの当たり面の清掃、本体底部に溜まったゴミの除去を行って下さい。また、配管の接続部や、吊り(支持)がしっかりと維持されているかどうか合わせて点検して下さい。
- ・急激な温度変化や瞬間的な異常高温等の影響、経年劣化によって特殊フロートボール内に水が侵入したり破損したりする場合があります。これらの異常が認められた場合は特殊フロートボールを新しい物と交換して下さい。
- ・清掃時にアセトン・シンナー等の有機化合物を使用しないで下さい。
- ・高温水を排出する機器等に接続されている場合は、やけどに注意して下さい。
- ・本製品の耐熱温度は120℃です。(保温型は90℃)

●設置時のチェックポイント

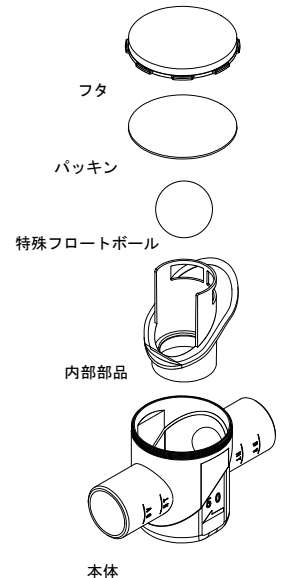
- ① 流入、流出方向は間違っていないか?
- ② 逆勾配になっていませんか?
- ③ 流入側に機内静圧※以上の落差は取れていますか? (H寸法については下図を参照)
- ④ フタはしっかりと閉まっていますか?



●点検・清掃の手順

- ① フタの開閉時は配管に力がかからないように注意して下さい。
- ② 内部部品と特殊フロートボールを取り出して、当たり面の清掃を行なって下さい。
- ③ 本体内に溜まったほこり等を取り除いて下さい。
- ④ 内部部品と特殊フロートボールにキズや異常が無いか確認して下さい。
- ⑤ 内部部品と特殊フロートボールを元の位置に収めて下さい。
- ⑥ パッキンにキズや異常が無いか確認して下さい。
- ⑦ フタをしっかりと閉めて、水漏れが無いか確認して下さい。
- ⑧ 配管接合部、本体の支持などに異常が無いか点検して下さい。

●部品構成



※ 本製品は気体及び液体の逆流を完全に防止することはできません。

●C・トラップ保温型について

C・トラップ保温型はC・トラップ本体外部に断熱空気層を設けており、標準品と比較して非常に高い結露防止性能を有しています。

C・トラップ保温型の取扱いにつきましては、裏面の“C・トラップの施工及び取扱上のご注意”と合わせまして、下記をご確認ください。

◆C・トラップ保温型取扱上の注意

① 保管・取り扱いに関する注意事項

・保温カバーを分解しないでください。

② 取り付けに関する注意事項

- ・高温排水の発生する機器にはC・トラップ標準品をご使用ください。
- ・配管接続部はC・トラップ標準品と同じ形状で、塩ビ管外径と同じです。
25A、30A型の接続口長さはTS継手の規格に準じています。
40A、50A型の接続口長さはDV継手の規格に準じています。
- ・本体及び保温カバーに無理な応力がかからないように取り付けてください。
- ・C・トラップ本体以外は必要に応じて結露防止対策をしてください。
- ・ACドレンシステム等の結露防止層付硬質塩化ビニル管を使用する場合は、C・トラップと同径の塩ビ変換アダプターを使用して接続してください。

→ 塩ビ変換アダプターを使用して接続する場合に、通常の塩ビ継手を使用した場合は接続部の保温施工が必要となりますのでご注意ください。

③ 使用に関する注意事項

- ・保温カバーに異常が見られたときは、本体ごと取り換えるか、別途結露防止対策をしてご使用ください。
- ・使用開始時に結露が発生していない場合でも、流入する排水の温度変化や、設置場所の温湿度条件の変化等により結露が発生する場合があります。定期的に点検をして状況変化があった場合には別途結露防止対策をしてご使用ください。

◆C・トラップ保温型の結露防止性能について

C・トラップ保温型の結露防止性能は以下の通りです。

流入水温 15℃ 雰囲気温度/湿度 30℃/75%

流入水温 10℃ 雰囲気温度/湿度 30℃/70%

この数値以上の条件となる場合は別途結露防止対策（保温施工）が必要となります。

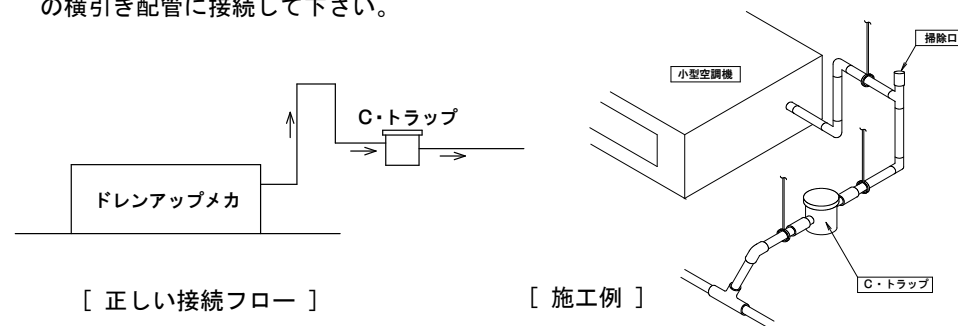
★ドレンアップメカへの接続について

暖房運転時などの結露水排水が発生しない時期において、チャッキ機能の無いドレンアップメカではドレン管からの汚染空気の逆流や害虫の侵入を防止することができません。

排水の有無にかかわらずドレン管からの空気逆流を防止するためには、C・トラップの設置が必要です。

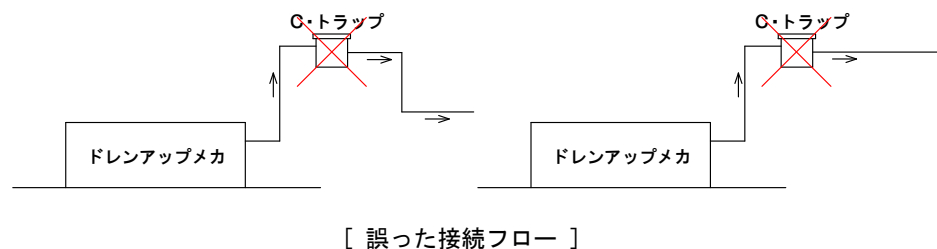
○ 正しい接続方法

ドレンアップメカの配管にC・トラップを接続する場合は、鳥居型配管を立ち下げたのちの横引き配管に接続して下さい。



× 誤った接続方法

スムーズに排水されない場合があるので、下図のような接続は避けて下さい。



KFK
コンドールFRP工業株式会社

〒531-0073 大阪市北区本庄西3-9-15

TEL06-6376-0810 FAX06-6376-0819